## 基準２－３　【重点評価項目】内部質保証が有効に機能していること

### 分析項目２－３－１　自己点検・評価の結果を踏まえて決定された対応措置の実施計画に対して、計画された取組が成果を上げていること、又は計画された取組の進捗が確認されていること、あるいは、取組の計画に着手していることが確認されていること

また、内部質保証体制に基づく自己点検・評価や対応措置の実施などの手順について検証していること

【分析の手順】

・定められた手順に従って機関別内部質保証を実行し、機関別内部質保証が有効に機能していることを、確認する。

・機関別内部質保証体制において決定された対応措置の実施計画のすべてについて、成果、進捗、検討状況を確認する。

※前回の機関別認証評価終了時点以降に実施された法令改正等に対応した改善の取組を含む。

※関連する基準に関する分析及び判断との整合性に留意する。

※前回の大学機関別認証評価における改善を要する点に対応したことを記述する。

※第三者評価の結果を踏まえた対応、教育研究上の基本組織の重要な見直しのほか、大学評価基準に示すすべての基準に関連する、自己点検・評価の結果を踏まえた改善の取組を含む。

※自己点検・評価結果報告書が公表されていることは基準３－２で確認。

・計画等の進捗状況一覧（別紙様式２－３－１）

| 改善・向上が必要と確認された事項 | | | 対応計画 | 計画の実施主体 | 計画の  進捗状況 | 関連する基準 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年月 | 内容 | 根拠となる自己点検評価結果等 |
|  |  |  |  |  | □　検討中  □　対応中  □　対応済  □　その他  （　　　　） |  |
|  |  |  |  |  | □　検討中  □　対応中  □　対応済  □　その他  （　　　　） |  |
|  |  |  |  |  | □　検討中  □　対応中  □　対応済  □　その他  （　　　　） |  |

※指摘事項、意見など、自己点検・評価において、改善・向上が必要と確認された事項について記載する。

※前回の大学機関別認証評価における改善を要する点に対応したことの記述では、対応計画の欄に対応する根拠資料番号を記述する。

※年月の欄は、機関別内部質保証体制において、確認された年月を記載する。

※改組等により対応の必要がなくなった場合等では、計画の進捗状況について「その他」を選択する。

※確認された事項及び計画された取組ごとに関連する基準（例えば、基準６－３等）を記載する。